

わたしたちのSDGs

SDGsもすっかり浸透し、独自の達成目標を掲げる企業も増えてきました。ここではそんな企業にお話を伺い、より多様な試みのヒントとして紹介します。

our GOALS



有限会社 福元電設

■本社……鹿屋市上祓川町8716-5
TEL:0994-40-1040

■太陽光パネルリサイクル工場……
鹿屋市笠之原町1698-1

■事業……電気工事業、売電業、
太陽光パネルリサイクル業

ふくもと あつし
■代表取締役……福元 淳様

Q1. 会社の事業内容を教えてください。

当社は、主に電気工事の施工を行う会社ではありますが、その中でも、太陽光発電や蓄電池の販売・施工・アフターメンテナンスから撤去・処分・リサイクルまで、太陽光発電のトータルサービスを提供しています。

小規模な家庭用のものから、自家消費型の中規模な太陽光発電、メガソーラーのような大規模な発電所まで様々な太陽光発電所を施工・管理しています。

Q2. SDGsの達成に向けた取組を教えてください。

昨年太陽光パネルリサイクル工場が完成し、これまで焼却・埋立処分されていた使用済み廃太陽光パネルを、アルミフレームやジャンクションボックス、カバーガラスなど、素材ごとに分類しリサイクルすることにより、資源として有効活用することが可能となりました。

設置した太陽光設備が少しでも長く発電できるよう当社でメンテナンスを行いながら、CO2を排出しないクリーンエネルギーを提供し、役目を終えた使用済み廃太陽光パネルについてはリサイクルを行う資源循環関連事業として、地域に貢献することを目指しています。

まだ始めたばかりの事業であり、リサイクル方法に課題もある中で、来る2030年問題といわれている『使用済み廃太陽光パネルの大量廃棄時代』に照準を合わせ日々研鑽を積み、必要な設備投資を行いながら廃棄ゼロを目指していきたくと考えております。

太陽光発電自体は今後も再生可能エネルギーの柱となることは間違いなく、リサイクルの効率的な仕組みづくりは欠かせません。リサイクル義務化が今後どのように進むのか、まだまだ先行き不透明な部分もありますが、FIT制度の期間満了を迎える発電事業者様とともに資源循環型社会を形成していきたいと考えております。



▲フレーム外し装置



▲カバーガラス剥離装置